

# 国際政治を考えるという仕事



出所 : Pixabay<<https://pixabay.com/ja/images/search/国際政治>>.

防衛省防衛研究所  
政策研究部主任研究官  
小塚 郁也

△△高等学校キャリア授業

2019年7月6日

## 本日の講義内容

- ▶ 1. 国際政治とは何か。なぜ、仕事として研究するのか。
- ▶ 2. 講師の高校時代、大学時代の実体験。
- ▶ 3. 国際政治を研究する仕事の内容（概略）。
- ▶ 4. これからの大学受験にどう向き合うべきか。
- ▶ 5. 社会の変化と高校生時代に考えておくべきこと。

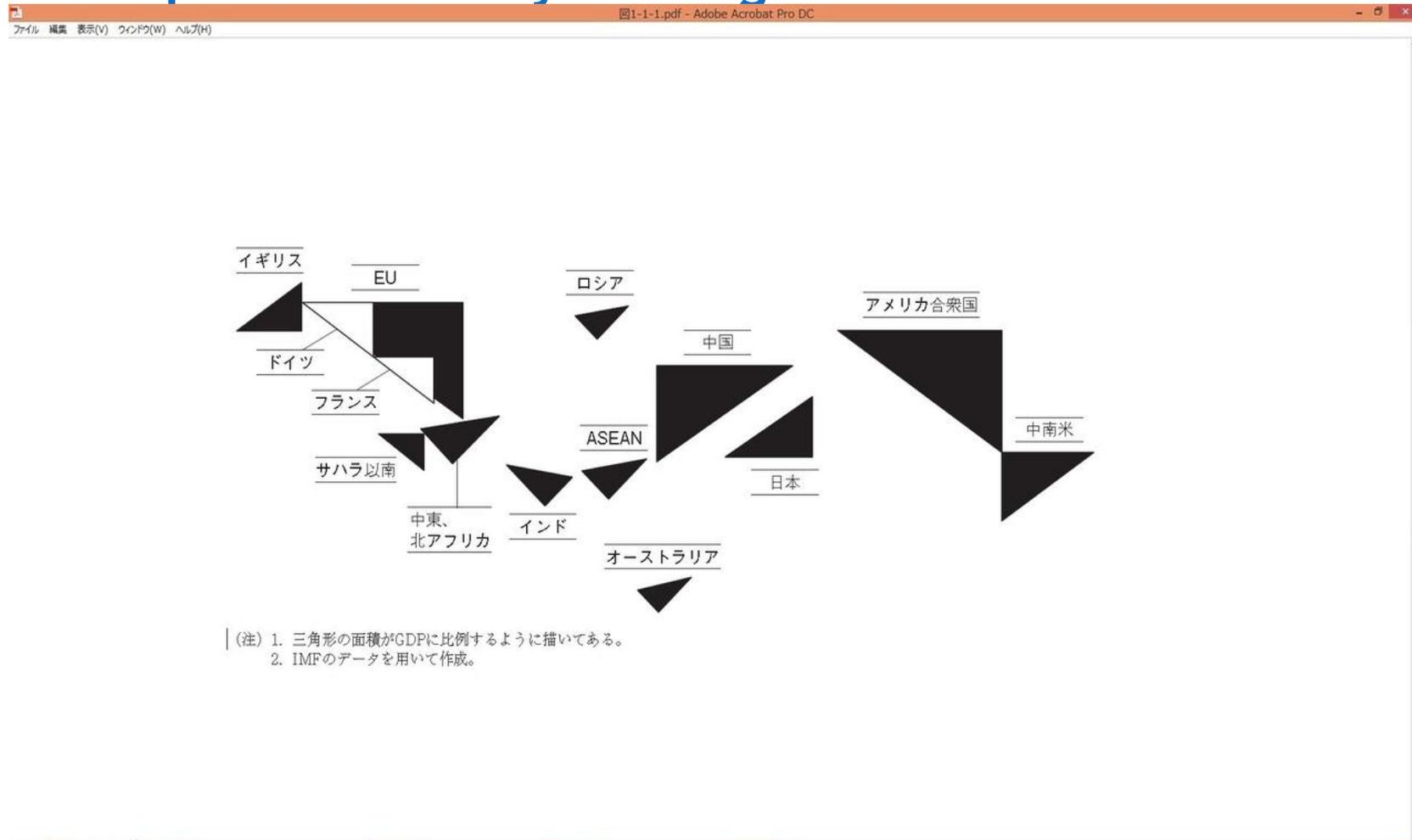
# 1. 国際政治とは何か。なぜ、仕事として研究するのか（その1）

- ▶ 政治とは、利害の一致しない様々な人や組織の間で、なるべく不平不満の出ないように、お金やサービスなどの諸価値を配分すること。
- ▶ 国内社会には中央政府が存在するので、その権威と権力によって上に述べたいろいろな価値を配分できる。
- ▶ ところが国際社会には中央政府がない。強い力（特に武力や経済力）を持つ国が、自分の意思を弱い国に押し付けることができってしまう（不公平）。

# 図表1-1 GDPで見た世界（2015年）

出所：野口悠紀雄

<<https://note.mu/yukionoguchi/n/n60b6ef33a409>>.



## 参考資料：世界の軍事支出（2018年）

出典：ストックホルム国際平和研究所（SIPRI, 2019/4/29）

<<https://www.sipri.org/media/press-release/2019/world-military-expenditure-grows-18-trillion-2018>>.

- ▶ 2018年世界の軍事支出1兆8220億ドル（約200兆円）。
- ▶ 1位 アメリカ、6590億ドル（36%）。
- ▶ 2位 中国、2500億ドル（14%）。
- ▶ 3位 サウジアラビア、676億ドル（3.7%）。
- ▶ 4位 インド、665億ドル（3.7%）。
- ▶ 5位 フランス、638億ドル（3.5%）。
- ▶ 9位 日本の防衛費は466億ドルで、結構多いですね。

# 1. 国際政治とは何か。なぜ、仕事として研究するのか（その2）

- ▶ このような国際社会の不公平を解決するために、国際政治を研究する必要がある。
  - ▶ 昔からの伝統的な2つの国際政治の考え方は、
  - ▶ a. 国際法や道徳を重視する理想主義。
  - ▶ b. 力（特に武力）の均衡を作り出すことによって、戦争の発生を防ごうとする現実主義。
- ※ a.は、強い国に対する強制力がなく、不安定。  
b.は、同盟関係が逆に戦争を引き起こす危険性がある。

## 2. 講師の高校時代、大学時代の実体験 (その1)

- ▶ 1978年、神奈川県立厚木高校に入学。同級生に六角精児、先輩に名取裕子さん、後輩に「いきものがかり」男子などの有名人がいます。
  - ・ 当時は怖い応援団があって、昼休みに教室と中庭で、新入生は校歌と応援歌全てを覚えさせられた。旧制県立第三中学校以来のバンカラ。今では応援団は解散。
  - ・ 歴史研究部に入り、鎌倉の神社仏閣などを調査。
  - ・ 在学中に読書1,000冊を目標（900冊くらい達成）。それが今でも仕事の上で役立っています。特に玉川高島屋南館5階の紀伊國屋書店で購入した、岩波文庫の『論語』と平凡社中国の古典シリーズ1『史記 上中下』は本当に愛読しています。

六角精児



出所：<<http://www.tobiraza.co.jp/members/rokkaku.html>>.

## 2. 講師の高校時代、大学時代の実体験 (その2)

- ▶ 高校へは世田谷区大蔵の自宅から、片道約90分の遠距離通学。
- ▶ 電車内で『試験に出る英単語』（でる単）、『同英熟語』（でる熟）、そして赤尾好夫の『英語基本単語熟語集』（豆単）を毎日暗記したことが、後の大学受験で多大な威力を発揮した。
- ▶ 上記以外の勉強はあまりせず、3年時に国立文科系クラスに進んで帰宅部になったものの、結果的に1年浪人の後、1982年に早稲田大学政治経済学部政治学科に入学。
- ▶ 高校時代にすべきだったと後悔しているのは、好きな社会科と国語以外の授業も、もっと真面目に聴いておけば良かったこと。

## 2. 講師の高校時代、大学時代の実体験 (その3)

- ▶ 大学では真面目にほとんどの授業に出席。その結果、成績が良く、1986年に卒業していったん東京銀行に就職後、改めて母校の大学院政治学研究科に進学することができました。
- ▶ 大学時代は公認サークルであった民族舞踊研究会に所属し、日本女子大のサークルと合同活動をしました。3年の部長時代に新潟県で夏合宿を企画したことが良い思い出です。
- ▶ 早大はサークル活動やイベントが盛んで、進学して楽しかったと思います。



shutterstock.com • 1093555913

出所：

Pixabay<<https://pixabay.com/ja/images/search/>  
早稲田大学>

# 3. 国際政治を研究する仕事の内容 (概略)

- ▶ 大学3年生からのゼミでは、中東の国際政治学を専攻。その後、2年間の銀行勤務を経て早大大学院政治学研究所に進学。
- ▶ 1992年4月、湾岸戦争（1991年）の翌年に、防衛研究所が初めて募集した中東研究者として採用。（この時の試験倍率は、会場でざっと見た感じで50倍以上！）
- ▶ 私たちの普段の仕事は、論文を書いたり、国際会議を企画調整したり、防衛省や外務省などの幹部国家公務員たちに国際政治や地域情勢、戦史などを教えること。

## 4. これからの大学受験にどう向き合うべきか。

### ▶ 中教審答申（2014年12月22日）

- ・学力の3要素（知識・技能、思考力・判断力・表現力、そして主体的に学習に取り組む態度）を試験するため、「大学入学共通テスト」を導入（現高校2年生の皆さんから）。
- ・それに合わせて大学教育も転換する（従来型の講義ではなく、アクティブ・ラーニングを重視することなど）。
- ・要するに戦後初の大改革だが、学習指導要領の改訂（2022年）までは、センター試験に多少記述式を導入した折衷的試験となる。
- ・お勧めしたいのは、文理分けずに全教科満遍なく勉強しておくこと。そのために、大変でも国立大学受験を目指した方が良い。

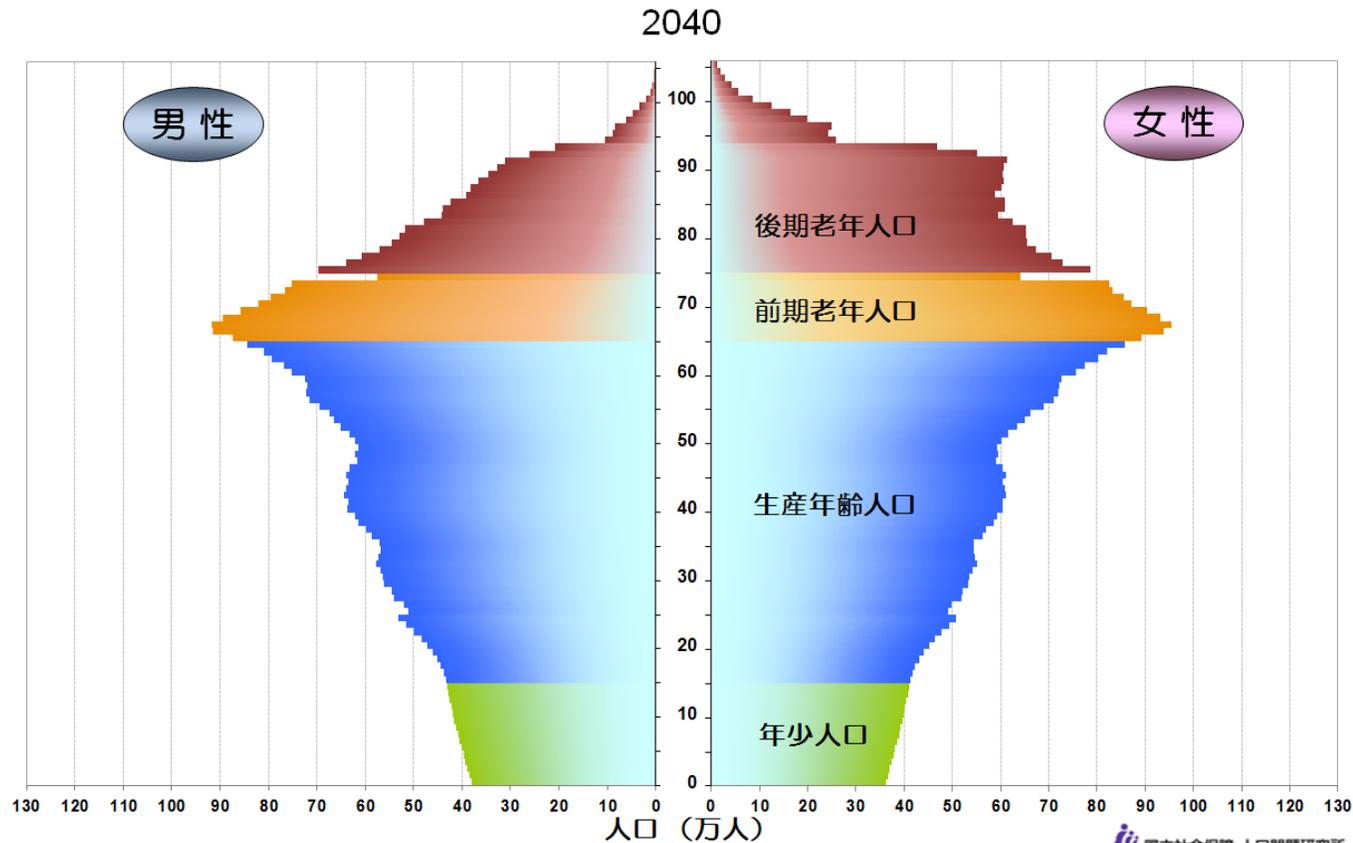
## 5. 社会の変化と高校生時代に考えておくべきこと（その1）。

- ▶ 日本社会の現実：平成時代の30年間を通じて経済が衰退し、国際的地位が大幅に下落。
- ▶ 皆さんが大人として最も活躍している2040～42年頃、日本史上かつてない規模で少子高齢化と地方の衰退が最高潮になる（国立社会保障・人口問題研究所の推計など）。
- ▶ それ以後、2117年に約5,060万人になるまで一方的に人口が減少。政府は外国人労働者の移民導入で乗り切ろうとしているが、地方自治体の約半数が2040年までに消滅の危機にさらされる（「日本創生会議」2014年推計）。

# 図2 日本の人口ピラミッド（2040年）

出所：国立社会保障・人口問題研究所

<<http://www.ipss.go.jp/site-ad/TopPageData/2040.png>>.



資料：1965～2015年：国勢調査、2020年以降：「日本の将来推計人口（平成29年推計）」（出生中位(死亡中位)推計）。

## 5. 社会の変化と高校生時代に考えておくべきこと（その2）。

- ▶ 要するに、皆さんが大人になる時代は、とてつもなく大変な時期。では、高校生時代にどう過ごすべきか。
- ▶ そこで、同様に日本が大変だった時期に学ぶと良い。
- ▶ 二宮金次郎（天明・天保の大飢饉が起こった江戸時代後期の農政家）「積小為大（せきしょういだい）」。
- ▶ つまり、大きな成功を収めるためには、初めは小さいことから順を追って成し遂げなければならないという教訓。古いかもしれないが、この考え方で勉強する。

# 5. 社会の変化と高校生時代に考えておくべきこと（その3）。



イラスト出所：いらすとや

<[https://www.irasutoya.com/2015/11/blog-post\\_796.html](https://www.irasutoya.com/2015/11/blog-post_796.html)>.

- ▶ 勉強ができるようになる考え方（私の経験で参考までに）
- ▶ 以下の3つの態度を、高校生の中に身に付けると良いです。
  1. 自分について
    - ※ バランス感覚（中庸）を意識し、自分のためではなく、将来の社会貢献のために今から満遍なく勉強しておく。
  2. 友達や後輩に対して
    - ※ 友達に「まごころ」で、後輩に「思いやり」で接する。
  3. 先輩や親に対して
    - ※ 先輩には「礼儀」をもって、親には「孝行」の気持ちで接する。